

汎用的能力育成に関する研究のお知らせ

帝京大学ラーニングテクノロジー開発室室員が含まれる研究チームで以下の研究を行います。
本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: 2024年9月1日～2028年3月31日

〔研究課題〕

ルーブリック・チェックリストを用いた間主観的評価における適応型自己評価手法の開発

〔研究目的〕

帝京大学理工学部情報電子工学科では、授業等において、汎用的能力の自己評価を行ってきました。ルーブリックやチェックリストを用いた自己評価は、自分の成長を把握し、今後の改善点を見つけることで、持続的な成長を促す効果が期待されています。一方で、評価項目が多いことから、学生の評価疲れが懸念されています。本研究は、評価活動における学生の負担を軽減するため、「適応型自己評価」と呼ぶ新たな自己評価手法を開発することを目的としています。

〔研究意義〕

適応型自己評価とは、学生ごとに評価項目を適応的に提示して、より少ない評価項目の数ですべての評価項目を用いた場合と同等の適切な自己評価結果を得る方法のことで、これまでにない新たな手法を確立することに大きな意義があります。この手法が確立すれば、自己評価活動における学生の皆さんの負担軽減が期待できるというメリットがあります。

〔対象・研究方法〕

対象者: 2017年度から2024年度に入学して帝京大学理工学部情報電子工学科に在籍した学生全員。

研究方法: 授業や到達度確認ワークショップで行った、汎用的能力の自己評価結果を解析することで新たな評価方法を開発します。

〔研究機関名〕

帝京大学ラーニングテクノロジー開発室 帝京大学理工学部情報電子工学科

〔個人情報の取り扱い〕

データは、匿名化した上で分析を行います。本研究において、汎用的能力の自己評価結果以外のデータは使用しません。本研究成果の発表においては統計的な情報のみを公表することとし、個人が特定される情報は公表しません。

データは、学内研究者のみがアクセスできるファイル管理システム、もしくは、外部記録媒体に10年間保管します。また、発表時は個人が特定できないように集計して記述します。

なお、情報使用の拒否に関しては、データを研究利用する形に加工した後は個人が特定できないため対応できない旨ご理解をお願いいたします。対象となる方で、ご自身のデータの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。研究への使用をご承諾いただけないことによって、不利益な対応を受けることはありません。学業成績や単位に影響を受けることもありません。

問い合わせ先: 帝京大学ラーニングテクノロジー開発室 宮崎 誠

住所: 〒 321-2352 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL: 028-627-7243(代表)[内線 7243]